

モチゴメの国

ラオス

—メコン河流域の暮らし—

“Khao Neaw” Glutinous Rice, People and Life in Laos

2007年10月17日(水)～2008年1月7日(月)

ラオスを中心としたメコン河流域には数多くの民族集団が暮らしています。モチゴメ「カオ・ニャオ」を主食として暮らす彼らが製作し、使用していた民族色豊かなモノ(素材・製品・道具)を通して、同河川流域に暮らす人々の生活様式を、歴史的な比較の視点を持ちながら描写します。

当館をはじめ各関係博物館や研究者所蔵のモノ・写真資料および調査活動時の収集資料を厳選して、紹介します。

この企画展は、2003年度より、総合地球環境学研究所と国立民族学博物館で進められてきた研究プロジェクト「アジア・熱帯モンスーン地域における地域生態史の統合的研究1945-2005」に当館も加わり、両者と連携して進めてきた研究成果の一端を公開するものです。人間文化研究機構とも連携しています。

メコンワークショップ

- ①ラオスのモチゴメ観察会 11月10日(土) 13:30～ 定員30名 申し込み順
講師：武藤千秋氏(岐阜大学大学院) 材料費700円 *飯かご「ティップ・カオ」のお土産付き
- ②竹で呼び笛を作ろう 11月18日(日) 13:30～ 定員30名 申し込み順
講師：川野和昭氏(鹿児島県歴史資料センター黎明館) 材料費700円

シンポジウム

「メコン河流域の暮らしと医療—天理教ラオス巡回医療隊の思い出—」

12月8日(土) 13:30～ 入館料のみ必要

講師：中村哲氏(国立国際医療センター研究所)

パネラー：木田光雄氏、小野喜雄氏、岡田雅幸氏、平山好美氏

(元天理教ラオス巡回医療隊)

列品解説

10月26日(金) 13:30～、11月26日(月) 13:30～ 入館料のみ必要

解説：吉田裕彦(天理参考館)

*各イベントの詳細はお問い合わせ下さい



さまざまな飯かご「ティップ・カオ」

開館時間 9:30～16:30(入館は16:00まで)

休館日 毎週火曜日(11月27日、12月25日は開館)、年末年始(12月27日～1月4日)

入館料 大人400円(20名以上の団体300円)、小・中学生200円

交通案内 JR・近鉄天理駅より徒歩約30分/タクシー5分、
天理IC・天理東ICより南へ約3km(駐車場無料)



〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250番地 TEL0743-63-8414 <http://www.sankokan.jp/>

Tenri University Sankokan Museum

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属天理参考館